

マネジメント ブートキャンプ

Terrace CONSULTING
CREATIVE



目的

「マネジメントブートキャンプ」の目的は、リーダーシップとマネジメントの基礎を効果的に学び、実践的なスキルを身につけることです。この研修プログラムは、現場でのリアルな課題に対処するための戦略や方法を提供し、チームのパフォーマンスを最大限に引き出すためのリーダーシップを育成します。

具体的には、以下のような目的を掲げています

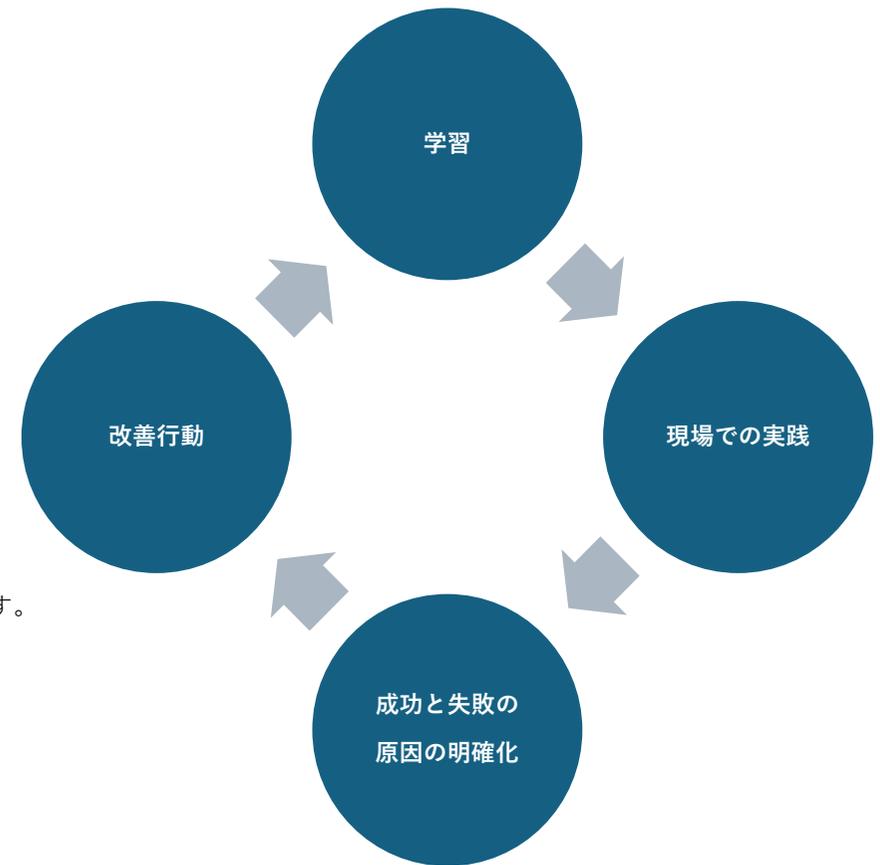
1. リーダーシップスキルの向上：効果的なコミュニケーション方法、モチベーションの引き出し方、チームビルディングの技術を学びます。
2. 問題解決能力の強化：実際の職場の状態を改善する取り組みを通じて、問題解決のプロセスや意思決定の技術を習得します。
3. パフォーマンス管理の理解：個々のメンバーの強みと弱みを理解し、メンバーを活かして組織を活性化する方法を学びます。
4. 戦略的思考の習得：短期的および長期的なビジョンを持ち、チームの目標を達成するための戦略を策定する力を養います。
5. 目標達成力の向上：明確な目標設定の方法とその達成に向けた具体的なアクションプランを作成し、効果的に実行する能力を育成します。
6. 自己成長の促進：自己認識を深め、自らの強みと弱みを理解し、継続的な自己改善を追求する意識を高めます。

概要「組織の成長のための研修」

マネジメントブートキャンプは会社の発展につながる「組織の成長のための研修」です。
企業研修にありがちな「研修のための研修」とは一線を画すものです。

「学習」→「現場での実践」→「成功と失敗の原因の明確化」→「改善行動」のサイクルで、
学びながら、実践しながら、現場を変化させながら、
リーダーシップとマネジメントを体得していきます。

毎回の研修では学習だけでなく、学習の実践の考察の時間を設けます。
実践における成功したことにおいては、成功の原因を明確にし、再現性のある成功を手に入れます。
失敗したことにおいても失敗の原因を明確にし、失敗をしないための準備力を高めます。
これらに取り組むことにより、成功も失敗も成果に変える思考を手に入れます。



概要「確実に成長を手にする研修」



講師による実践のサポート。LINEグループでの質問と相談し放題。

マネジメントブートキャンプは「確実に成長を手にする研修」です。確実に成長を手にしていただくために、講師が受講者をバックアップします。

座学での研修での学びに加えて、オンラインでのグループコンサルティングを行い、現場での実践に対するフィードバックを講師より行います。

研修期間中は、講師と受講者のLINEグループを用意します。受講者は、実践をした上で生じた課題や、トラブル対応などに関する質問や相談し放題です。

マネジメントブートキャンプはでは、机上の空論ではなく実際の現場における実践に重きを置いた研修です。だからこそ、様々な出来事が生まれます。

受講者の実践を講師が全力でバックアップいたします。

概要「研修の流れ」

全6回研修。1回あたりの研修時間は4時間です。
開催頻度の目安は4週間に1度です。

第1回：リーダーとしてのミッションの構築

↓実践（2週間）

オンライングループコンサルティング

↓実践（2週間）

第2回：組織の機会と課題を見る視点を持つ

↓実践（2週間）

オンライングループコンサルティング

↓実践（2週間）

第3回：組織のパフォーマンスを高めるルールについて

↓実践（2週間）

オンライングループコンサルティング

↓実践（2週間）

第4回：組織の繋がりを生むコミュニケーションについて

↓実践（2週間）

オンライングループコンサルティング

↓実践（2週間）

第5回：組織の改善計画の考察とブラッシュアップ

↓実践（2週間）

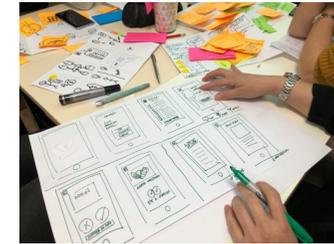
オンライングループコンサルティング

↓実践（2週間）

第6回：経営者の思考を学ぶ「経営者に贈る5つの質問」



概要「研修内容」



第1回：リーダーとしてのミッションの構築

優れたリーダーはどの時代にも共通して、一貫した思考と行動を持っています。彼らはどんな大きな困難に直面しても、一貫性を保ち、それを乗り越えます。

本講義では、リーダーとしてのミッションを構築する方法を学びます。ミッションとは、人生における思考と行動の基軸であり、個人の理念を具体的に表現したものです。

ミッションを持つことで、思考と行動の選択基準が明確になり、ブレない人間になることができます。ブレない人間は、強さと信頼を備えています。

強さがあれば、大きな困難に直面しても最後まで諦めずに突き進むことができ、最終的に乗り越えることができます。また、自分が決めたことをやり遂げる意志の力も強くなります。

信頼があれば、多くの支援者が集まります。人は一人では何も成し遂げられません。他者と助け合うことで、物事を成し遂げることができます。普段から一貫した思考と行動をしていれば、信頼が集まり、チャンスを得たり、ピンチの時に助けってもらえたりします。

この講義では、自分の人生を振り返り、「自分が人生において大切にすること」を明確にして、ミッションを構築します。

第2回：組織の機会と課題を見る視点を持つ

本講義では、組織の機会と課題を見極める視点を提供します。

世の中には数多くのリーダーシップとマネジメントの理論がありますが、それにもかかわらずリーダーシップとマネジメントに課題を抱える組織は減るどころか増加の一途をたどっています。

その一因として、リーダーシップとマネジメントを過度に複雑に捉えていることが挙げられます。

成功するためには、シンプルなアプローチが重要です。組織の状態を評価する際の基準は「ルール」と「コミュニケーション」の二つです。

成果を持続的に上げ、社員が生き生きと働く職場では、「ルール」と「コミュニケーション」がしっかりと確立されています。

優秀なリーダーは、組織の状況を見極め、「ルール」と「コミュニケーション」のどちらに重点を置いてマネジメントすべきかを判断します。

本講義では、受講者が所属する組織を教材とし、組織の状態を把握して機会と課題を明確にします。そのうえで、改善のためのアクションプランを設計し、実践していただきます。

第3回：組織のパフォーマンスを高めるルールについて

組織におけるルールは重要な役割を果たします。

具体的には、以下のような役割があります。

行動の基準を提供し、平等と効率を確保し、安全性を維持し、一貫性を保ち、責任を明確化し、組織文化を形成します。

これらの役割を通じて、組織全体のパフォーマンスと信頼性が向上します。

ルールが存在することで、働く人は安心して自分の力を発揮できます。

マックス・デプリーはハーマン・ミラー社を創業し、自身の著書『響き合うリーダーシップ』の中で、「様々な価値観や信条が混ざり合う組織において重要なものは規律である。」と述べています。

本講義では、組織におけるルールの役割とその設定方法について学びます。受講者は設計したアクションプランにルールに関する内容を追加し、実践していただきます。

概要「研修内容」



第4回：組織の繋がりを生むコミュニケーションについて

組織の成果と健全な職場環境の構築には、コミュニケーションが欠かせません。効果的なコミュニケーションは、組織の繋がりを生み出す重要な手段となります。

特にリーダーのコミュニケーションの取り方は、組織の成果に大きく影響します。

メンバーのやる気を引き出すには誉めることが大事だという声がありますが、やる気を引き出すコミュニケーションは単に褒めるだけではありません。コミュニケーションの良し悪しは受け取る側が決めます。こちらが良かれと思って褒めたことが、相手のやる気を下げってしまうこともあります。

「正しい褒め方」「正しい叱り方」を理解し、効果的なコミュニケーションを取ることが重要です。

「褒めるのが苦手」「叱るのが苦手」という方でも、本講義を通じてその苦手を克服するヒントを得ることができます。また、リーダーだけでなく、メンバー間のコミュニケーションの活用方法についても学びます。

本講義では、組織におけるコミュニケーションの役割とその活用方法を学びます。受講者は設計したアクションプランにコミュニケーションに関する内容を追加し、実践していただきます。

第5回：組織の改善計画の考察とブラッシュアップ

第2回から第4回にかけて取り組んできた組織の改善計画についての考察を行います。考察を通して、再現性のある成功事例と改善策を導き出します。

また、全体発表の時間を設け、受講者一人一人が自身の取り組みを全体にシェアします。他者の取り組みを知ること、今後の自分の改善計画に役立てることができず。

強い組織は「ベストプラクティスの共有」という文化を持っています。個人レベルでうまくいったことをすぐに全社で共有し、個人の成果を組織の成果に変えるのです。

トヨタ自動車やマッキンゼーなどでは、「ベストプラクティスの共有」という文化が根付いているため、永きにわたって高い成果を挙げ続けています。

本研修では、受講者が考察を通じて得た洞察を共有し合い、他者の成功事例や改善策からも学びます。これにより、組織全体のパフォーマンス向上を目指します。

最終的に、これまでの考察と他者の取り組みから得た学びをもとに、受講者は自身の組織に最適な改善計画を設計します。この計画は、持続可能な成功を目指し、具体的かつ実行可能なアクションプランとして落とし込みます。

今後の組織の改善計画を設計する上で、ベストプラクティスの共有を活用し、強固な組織文化を築き上げることが期待されます。

第6回：経営者の思考を学ぶ「経営者に贈る5つの質問」

本講義では、多くの経営者を自立させ、事業を成功に導いてきたP.F.ドラッカーの著書。「経営者に贈った5つの質問」を用いて、経営者としての視点を学びます。

リーダーとプレーヤーでは、物事を見る視点や捉え方がまるで異なる種族のように違います。経営者思考と経営者視点を持たなければ、真のリーダーにはなれません。

「我々の事業は何か」を問うことは、自社の事業がどうあるべきかを徹底的に考え、自社の理想像を明らかにすることです。この理想像が明確になった時、取り組むべき課題が見えてきます。

日々の業務に忙殺されているだけでは、プレーヤーではありません。目の前の業務に取り組みながらも、リーダーとしての課題を理解し行動することが重要です。このスキルを身につけるために、経営者としての視点を学びます。

「我々のミッションは何か？」「我々の顧客は誰か？」「顧客にとっての価値は何か？」「我々にとっての成果は何か？」「我々の計画は何か？」

この5つの質問を通じて、自分が所属している組織を経営者の視点で見ます。

グループディスカッションに取り組み、自分と他者の考えを交換し、組織に対する思いを共有します。

概要「グループコンサルティング」

グループコンサルティングは、複数の受講者に対してリアルタイムでコンサルティングを行う手法です。

マネジメントブートキャンプで学んだ内容を実践し、その成果を一人ずつ発表していただきます。講師は各発表に対してフィードバックを行い、さらに実践中に生じた課題や悩みについても質問や相談ができます。

グループコンサルティングのメリットは、受講者が抱える課題や悩みをその場で解決できることだけでなく、一人の受講者の問題解決が他の受講者にも役立つ点にあります。これにより、研修の成果がより早く実現します。受講者同士の学びの場としても機能し、相互に刺激を受けながら成長することができます。

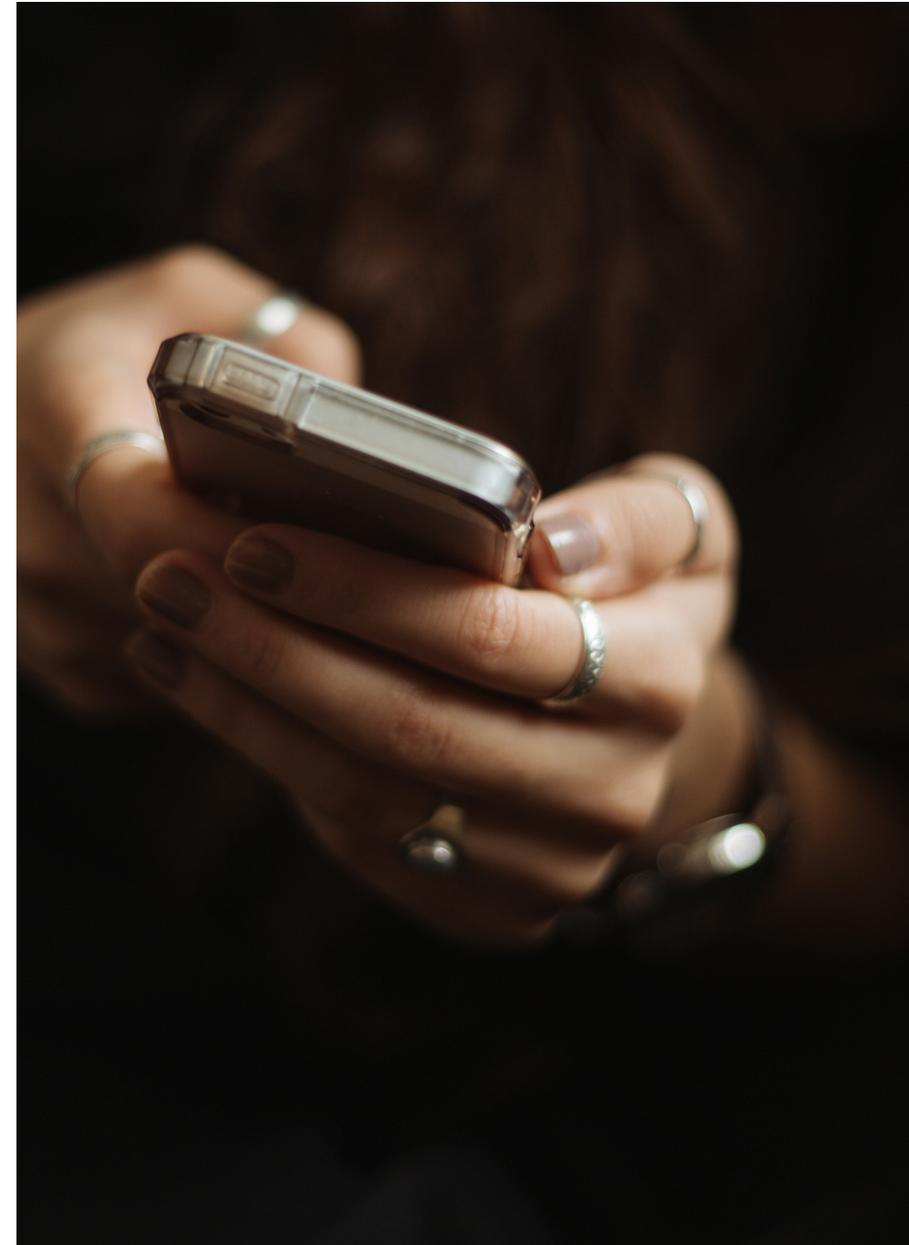
グループコンサルティングは、Zoomを用いてオンラインで実施します。1回あたりのセッション時間は最大で120分です。

概要「LINEグループによるバックアップ」

マネジメントブートキャンプの実施期間中、受講者はLINEグループに参加していただきます。このグループでは、研修で使用したスライドの共有、マネジメントに関する有益な書籍やニュースの情報提供、そして受講者からの質疑応答を行います。講師が受講者の実践を全面的にバックアップします。

この期間中、受講者はLINEグループを通じて講師へ質問や相談を自由に行うことができます。学んだことを実践する過程で直面する課題や問題、不安や悩みに対して、講師が24時間以内に返答します。これにより、受講者は常にサポートを受けながら学びを深めることができます。

また、一人の受講者の問題解決が他の受講者にも役立つ点は、グループコンサルティングと同様です。この相互学習の場は、受講者同士の刺激を促し、研修の成果をより早く実現することができます。受講者同士が協力し合い、共に成長していくことで、強固なマネジメントスキルを身につけることが可能です。



講師 森行秀知

経営参謀を主軸として、ライフコーチ・講師・プロデューサー・コンサルタントとして活動。

リーダー教育、新入社員教育、人材採用、人事評価制度の策定、業務改善、業績向上などで成果を生み出している。

マネジメントやマーケティングなどのビジネススキルと教育的アプローチを組み合わせる独自の手法で、クライアントの成果と自立を実現している。

サポートしているクライアントは、法人・個人問わず、業種も多岐にわたる。

「大切な人に紹介したくなる男」と言われ、クライアントから絶大な信頼を得ており、集客活動は一切行わず、紹介と口コミのみで依頼を受け続けている。

